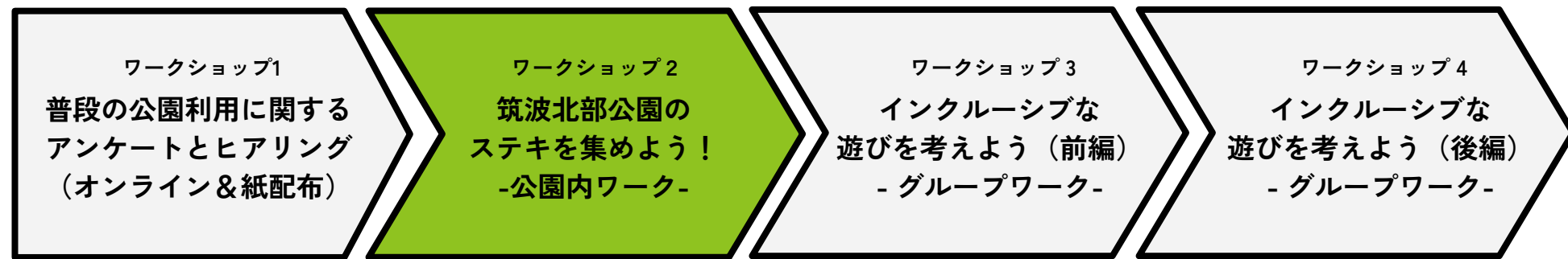


普段の公園利用に関するアンケートとヒアリング No.02



【はじめに】

第2回目のワークショップでは、令和7年9月に実施したアンケート調査の結果を踏まえ、まずは整備計画を進めるために、筑波北部公園の「いいところ」を探し出す現地ワークを行いました。

第2回 ワークショップの概要

日時：2025年9月23日（火・祝）15:00～16:25

場所：筑波北部公園

参加者：25名

当日の流れ

1. ワークショップの目的と全体の流れの説明
2. チームわけ／自己紹介・ルール説明
3. 自分のエリアでダンボール（大・小）を隠す
4. 相手エリアでダンボールを見つける
5. 見つけられなかったダンボールの隠し場所をみんなで見つけに行く
6. シェアタイム／感想
7. クロージング



実施内容

参加者を2グループに分け、「隠す」「探す」体験を通して、公園をよく観察することで、筑波北部公園の持つ「潜在的な魅力」に気づくことを目的としたフィールドワークを行いました。

- ・フィールドワーク①：色のついた段ボールを隠す
- ・フィールドワーク②：別のグループが隠した段ボールを見つける

赤チーム、緑チームは公園のこちら側に隠す！



青チーム、黄チームは公園のこちら側に隠す！

参加者からいただいたご意見



40代 / 女性

多機能トイレがとにかく必須で、ユニバーサルシートもとても重要。車椅子のまま遊べるものがあると嬉しい。



30代 / 男性

初めは芝生でボール遊びでもするかなと思ったが、こんなに自然遊びできるとは思わなかった。



20代 / 男性

落ち葉を踏む音や、集めて山盛りにして遊ぶのは楽しいと思った。



40代 / 女性

芝生は車椅子が押しづらいが自分にも子供にとっても良いので連れて行きたい！

参加者の興味集中しているマーカーの箇所は、マップの右上。地形の起伏が豊かだったり、分岐の道があるなど構造が複雑な場所でした。ただ公園を歩くだけだとこのおもしろさには気づけなかったため、このような「今ある良さ」に気づけるように整備の設計を進めたいと思います。

ワークショップ2 から見えてきたこと

参加者のみなさんの行動やコメントから、筑波北部公園の起伏のある地形や樹木など、魅力的な部分を確認することができました。これらの「自然の良さ」を感じやすく、体験しやすくなるよう整備計画に盛り込んでいきます。